

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論Ⅲ (内分泌系、血液・リンパ・自己免疫疾患) 1 単位 30 時間		
開講時期	1 年次 後期		
担当教員	内分泌代謝科医師・血液内科医師	実務経験	有
科目のねらい・到達目標			
<p>内分泌・代謝器官の構造と機能について学び、形態機能学で学んだ内分泌・代謝系の知識を臨床実践に結び付けて統合し、特有の疾患の理解について深める。また、血液・造血器疾患においても、血液の成分・性状と基本的な機能を理解したうえで、代表的疾患の病態・診断・治療について理解をする。到達目標は内分泌系の疾患、血液・リンパ・自己免疫疾患系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解することとする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1 回目	1. 内分泌系の疾患とその治療 1) 視床下部一下垂体前葉系疾患 2) 視床下部一下垂体後葉系疾患	講義 (内分泌代謝科医師)	
2 回目	3) 甲状腺疾患	講義 (内分泌代謝科医師)	
3 回目	4) 副甲状腺疾患	講義 (内分泌代謝科医師)	
4 回目	5) 副腎疾患	講義 (内分泌代謝科医師)	
5 回目	6) 性腺疾患	講義 (内分泌代謝科医師)	
6 回目	7) 多発性内分泌疾患	講義 (内分泌代謝科医師)	
7 回目	2. 代謝性疾患 1) 糖尿病	講義 (内分泌代謝科医師)	
8 回目	2) 脂質異常症 3) 肥満症とメタボリックシンドローム 4) 尿酸代謝異常	講義 (内分泌代謝科医師)	
9 回目	3. 血液・造血器疾患とその治療 1) 赤血球系の異常	講義 (血液内科医師)	
10 回目	2) 白血球系の異常	講義 (血液内科医師)	
11 回目	3) 造血器腫瘍 ①造血器腫瘍治療の基本理念 ②造血器腫瘍治療における支持療法 ③白血病	講義 (血液内科医師)	
12 回目	④悪性リンパ腫 ⑤骨腫瘍及び類縁疾患 ⑥多発性骨髄嚢	講義 (血液内科医師)	
13 回目	4) 出血性疾患 ①血管異常による出血性疾患	講義 (血液内科医師)	
14 回目	5) 自己免疫疾患 ①全身性エリトマトーデス	講義 (血液内科医師)	
15 回目	②シェーングレイン症候群 ③ベーチェット病	(血液内科医師)	
16 回目	終了試験		
評価方法	終了試験 筆記 100% : 内分泌代謝科 (50%) 血液内科 (50%)		
受講生に対するメッセージ	2 領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病 感染症 医学書院		
参考書			